

試料提供へのご協力をお願い



麻酔科学講座では、より安全確実な超音波ガイド下末梢神経ブロックのためのナビゲーションシステムの開発研究に取り組んでいます。現在、研究に必要な資料提供にご協力いただける方を募集しています。

研究課題名: 超音波ガイド下末梢神経ブロック用ナビゲーションシステムの実用化に向けた研究

研究責任者: 村川雅洋 [福島県立医科大学医学部麻酔科学講座]

近年、全身麻酔は調節性に優れる作用時間の短い薬剤を持続投与することがほとんどで、麻酔からの覚めが速くなる一方で、手術後に麻酔の影響が速くなくなることによって痛みも強くなります。手術後の痛みを止め手段として、局所麻酔薬を手術の傷がある神経の近くに注入して痛みを抑える末梢神経ブロックという方法をよくやるようになってきました。末梢神経ブロックはこれまで、体表の骨や筋肉を目印にして針を刺す方法や神経刺激装置を使って行う方法でされてきましたが、より成功率を高めて、神経の近くにある血管を刺すなどの合併症を防ぐため、超音波画像を見ながら行われることが一般的となっています。

しかし、超音波画像で確実に神経を描き出し、血管や筋肉などの周りの組織と区別したり、ブロックの針を神経の近くに安全かつ正確に誘導するには、医師の熟練が必要です。

この研究は、最先端のICT（情報通信技術）のAR（拡張現実感）技術を用いて、麻酔初心者でも末梢神経ブロックを熟練者と同じように、簡便確実に、しかも安全に行うことができるナビゲーションシステムを開発しようとするものです。

ご提供いただきたい試料 : 頸から腋にかけての超音波画像

提供にかかる時間 : 約 30 分

提供者条件 : 20 歳以上の健康な成人ボランティア

詳しい説明を希望される方は、麻酔科学講座医師にお尋ねください。

多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。